

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 令和2年2月7日（金） 午後6時00分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

- 日程第1** 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 報告
日程第4 議案第1号 令和2年3月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

教 育 長 岸 本 文 子
(教育委員)
教育長職務代理者 加 賀 爪 毅
委 員 金 丸 公 一
委 員 中 筋 斉 子
委 員 小 山 栄 子

(出席職員職氏名)

部 長	伊 賀 和 彦	副 部 長	上 道 貴 志
教育支援センター長	市 橋 公 也	教育総務課長	栗 田 益 典
学校管理課長	三 村 敦	生涯学習課長	久 泉 昭 人
学校教育課長	吉 田 秀 平	中央図書館長	安 田 美 樹
学校管理課副課長	佐 藤 勇 宏	生涯学習課副課長	宮 本 義 典
教育支援課副課長	山 田 裕 一	教育支援課主幹	二 木 明 美

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	加 藤 冬 子	教育総務課主事	奥 田 峻 也
-------------	---------	---------	---------

開 会 (午後6時00分)

○**開会宣言** 教育長が2月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

○**日程第1** 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、加賀爪委員を指名する。

○**日程第2** 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

○**日程第3** 報告

- (1) 文教福祉常任委員会について(令和2年1月17日)
- (2) 第36回宇治川マラソン大会の開催について
- (3) 「要望書」について
- (4) 宇治市教育委員会後援事業について

以上4件を報告する。

[説 明]

(1) 文教福祉常任委員会について(令和2年1月17日)

- ① 宇治市中学校給食基本構想(初案)への意見募集結果及び最終案について
- ② 公民館の今後のあり方について(初案)への意見募集結果及び最終案について

(2) 第36回宇治川マラソン大会の開催について

第36回宇治川マラソン大会は、令和2年2月23日(日)に、京都府立山城総合運動公園で開催する。スタート・ゴール地点は会場である京都府立山城総合運動公園で、宇治川を主とした宇治市内を走るコースになっている。

種目は、3種目で男女年齢別に合計26区分あり、ハーフマラソンコースと10kmコースは10時30分スタート、5kmコースは5分早い10時25分スタートになっている。

参加申込者数は、2,194人で前回2,296人から102人減少している。申込方法ではインターネット利用が全体の約8割を占めている。

種目別申込者数は、5kmコースが401人、10kmコースが622人、ハーフマラソンコースが1,171人になっている。

都道府県別は、35都道府県からの申込があり、遠方の東は北海道、西は沖縄県から申込があった。全体的に関西2府4県から1,984人と90%を占めている。

階層別では、中学生81人、高校生98人、一般2,015人の申込があり、高齢者の参

加は、男子の70歳以上が53人（うち、市内在住者は19人）、女子の60歳以上が33人（うち、市内在住者は7人）となっている。

（3）「要望書」について

日本共産党宇治市議会議員団より「議会会派要望」、公民館廃止に反対する会より公民館の廃止に反対し、「公民館の存続と充実を求める要望書及び署名」の提出を受けた。

（4）宇治市教育委員会後援事業について

宇治市特別支援教育研究会主催の令和元年度「第48回宇治市特別支援学級卒業生を送る集い」ほか3件、計4件の事業について後援した。

○日程第4 議案第1号 令和2年3月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

市議会提案前の案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により非公開とする旨の提案があり、全会一致で決定する。

[説明] 令和2年3月宇治市議会定例会提出議案として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づき、宇治市長から2月7日付で意見を聴取されているもので、教育委員会としては、この内容に異義が無いとするものである。

提出議案は、令和2年度宇治市一般会計予算、宇治市青少年指導センター条例を廃止する条例を制定するについて、宇治市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例を制定するについてである。

最初に、「令和2年度宇治市一般会計予算」について、教育関係歳出予算の集計であるが、民生費の善法・河原青少年センター運営費・活動費等、文化財保護費を除く、教育委員会が所管する教育費用を合わせた予算総額は、46億5千506万3千円で、昨年度より6億6千431万1千円、12.49%の減となっている。

また、一般会計予算総額に占める割合としては、令和2年度は7.42%で、前年度より1.09ポイント低くなっている。

特徴的な事業について、西小倉地域小中一貫校整備検討事業費として20万円が、西小倉地域における小中一貫校の整備検討に要する経費として、西小倉地域の3小1中を統廃合して、一貫校を検討する予算が次年度についており、地域に入っていく動きになっている。

次に、小・中学校、幼稚園の維持整備事業の中の大規模改造、施設整備の主な項目として、次年度については、体育館非構造部材耐震改修を小倉小学校と木幡中学校の2校の設計、トイレ改修として予算をつけている。また、

令和元年度3月補正予定分として、トイレ・ライフラインの改修として北槇島小学校、笠取小学校、南宇治中学校の3校、体育館の非構造部材の改修で神明小学校と広野中学校の2校を3月補正として計上予定である。この補正額が8億7千万ほどあり、6億6千万ほど教育費が減額との説明をしているが、工事費等の8億7千万は令和元年度の予算であり、令和2年度に事業を行うということになるので、実質、令和2年度の教育費は増額ということになる。

次に、給食・調理環境充実費として、学校給食調理委託事業ということで、次年度は4校の学校で3年間の債務負担行為を設定する。近年の人件費等々の上昇部分の予算の増額等を考えている。また、小中学校の就学援助費の拡充というところでは、新入学の学用品費の国の単価が引き上げとなるので、それに連動して単価の引き上げを行う。

次に、中学校給食準備事業費として、中学校給食の準備、中学校の配膳室の配置等の検討のための事業費をつけている。

次に、中学校府内産木材備品等整備事業費として、特別教室の椅子等を府内産の木材で作られたものを入れていく事業費としてつけている。

次に、学校支援チーム活動費として、現在、心の電話相談として教育支援課と学校教育課で教育相談を実施しているが、それを統合してリニューアルした形で、教育相談の体制を整えるというものである。

次に、地域学校協働活動推進費ということで、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する取組を令和2年度からモデル校を選定し、事業を始める。このような中で、学校の安全対策も含めて検討をしていく事業である。

次に、幼稚園預かり保育事業費として、令和2年度についても神明幼稚園と木幡幼稚園の2園で預かり保育の試行実施を継続するという事になっている。

次に、スポーツ大会開催費として、2021年に太陽が丘でワールドマスターズゲームズが実施され、それを盛り上げるために、来年度のスポーツまつりで、フライングディスクアルティメット競技のプレ大会を行う事業の予算である。

次に、各種大会事業補助金については、スポーツを盛り上げていくために、宇治川マラソン大会における参加者の満足度、地域の活性化に向けた取組の拡充という形で予算化している。合わせて、フライングディスク普及啓発事業費ということで、フライングディスクの体験や、親しむ機会の創出として、小・中学校等にフライングディスクを配ったり、色々な研修・体験会を開いたりして、2021年に向けて盛り上げていく事業である。

次に、巨椋ふれあい運動ひろば指定管理者検討事業費と総合野外活動センター指定管理者検討事業費として、それぞれ両施設とも指定管理をして

いるが、令和3年度末で指定期間が終了するので、今後、公募等々の検討を来年度からしていくための検討事業費になっている。

次に、企画展示費として、源氏物語ミュージアムでは、来年に平等院ミュージアム鳳翔館と共催で、収集されている資料を通して、宇治の名所を紹介するという企画を考えている。

次に、図書館情報発信事業費として、LINEを活用して図書検索、予約サービスの実施及び図書館情報の発信をしていく事業を来年に実施する。その事業費として予算化をしている。

次に、大久保青少年センター整備事業費については来年夏に向けての大久保幼稚園跡への移転の為に、改修する工事費として予算化をしている。

次に、宇治市青少年指導センター条例を廃止する条例を制定するについてであるが、宇治市青少年指導センターについては、耐震性に課題があることから、今年度からすでに活動場所を移転している。当センターの業務については、今後は教育支援センター教育支援課において行うこととしたので、令和2年3月31日を以て廃止することとなり、これに伴い、条例を廃止するものである。

最後に、宇治市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例を制定するについてであるが、本条例の制定は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項の規定に基づき、学校における体育に関する事務を除く、スポーツに関する事務を市長が管理し、執行することとするものである。現在、スポーツに関する事務は、教育委員会が管理し、及び執行するものとされているところであるが、本条例により、市長部局に事務が移管する。スポーツに関連した取組を市長部局に移管し、全庁的に推進することで、スポーツ推進計画の基本理念であるスポーツが育むふるさと宇治の魅力と未来を実現し、スポーツを通じたまちづくりにより、地域コミュニティの活性化や文化健康増進施策に効果的、効率的に取り組むことができるようになると考えている。

[質 疑]

[委 員] 教育関係歳出予算集計において、小学校と中学校の費用が減少しているのはなぜか。

[事務局] 当初予算で計上しているライフライン改修工事等の部分で、令和2年度の当初予算分に関しては、工事予算が12月の段階で国庫補助の内定を得たので、当初予算分の予算からは計上しないということになっており、その予算規模が小中合わせて約9億2千万あり、その部分が減額となっている。

[委 員] 小・中学校の就学援助費が、国の単価見直しに合わせて改定だということだが、宇治市は、卒業アルバムを就学援助費の対象にしているのか。

- [事務局] 卒業アルバムは、対象にしていない。
- [委員] スポーツの関係は、当初予算は教育委員会になっているが、執行の際はどこになるのか。
- [事務局] まず教育委員会で予算を組んでおり、条例等で4月以降に所管が変われば、予算科目は教育費のままだが、執行は新しい部局で行うということになる。
- [委員] 令和2年度は例年と異なった対応になるが、令和3年度からは、予算科目も教育費ではなく、市長部局の予算科目で執行ということになるのか。
- [事務局] そういうことになる。
- [委員] 各種大会事業補助金の部分で、宇治川マラソン大会ゲストランナーの参加とあるが、今年度であれば著名な方が来られるのか。
- [事務局] 今年度について、そういう方は考えていない。
- [委員] 次年度以降は考えているのか。
- [事務局] 来年度についてはマスターズのこともあるので、単年度ごとに話していくということだが、元オリンピック出場者や、宇治市の観光大使といった方々を検討することを考えている。
- [委員] 図書館のLINE活用について説明を願いたい。
- [事務局] 資料の検索は図書館のホームページからできるが、時間がかかる。図書館を利用する若い方が4%程しか利用がないということなので、SNSが普及していることから、LINEで資料検索ができる仕組みを考えている。情報発信も、ホームページだとなかなか見てもらえないが、LINEだとその機会も増えると考えている。
- [委員] 教育相談を一つにまとめるということだが、配置の人数は増減したり、現状維持であったりするのか。
- [事務局] 電話相談のボランティアに関しては、移行するにあたって、現在希望調査をしているところであり、何名になるかは定かでない。

[討論] なし

[採決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○**閉会宣言** 教育長が2月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時30分)